地域住民に愛され続ける八勢橋



能寛の遺徳を偲ぶ

林田能寛祭

4月4日、第23回林田能寛祭が上野で同祭顕彰会（藤原英一会長）会員や地域住民など約40人が参加して催されました。妙晄寺（滝川）にある林田家墓地で供養後、会場を明尊寺（上野）へと移し、能寛祭の神事などが執り行われました。

能寛は、巨額の私財を投じて1855（安政2）年3月に八勢橋を完成させた郷土の先哲。八勢橋は、橋の長さ62㍍、幅4㍍、水面からの高さ約9㍍で、2連の眼鏡橋から成る水路橋です。昭和59年3月に、県重要文化財に指定されています。

買い物客と会話を楽しむ渡辺君子さん（右）



安くて良質の〝伝統市〟

春の種イモ市

春の訪れを告げる「種イモ市」が4月1日から30日までの期間（5日おき）に御船川河川敷で開催され、常連の買い物客などでにぎわいました。

種イモは、石川早生や赤芽大吉、ウハンなど約10種類で、このほか春野菜や花の苗も並べられ、訪れた買い物客は品定めをしながら買い求めていました。

御船町から唯一出店している渡辺君子さん（滝川）は、「毎年、たんべん（度々）に来る人と話をするのが何よりの楽しみ。多い人で、種イモを5～6㌔買っていかれますよ」とにこやかに話されました。

地域資源で町を活性化

城山公園桜まつり

4月5日、桜まつりが城山公園で開催され、家族連れなど約400人の来場者でにぎわいました。

これは、みふね両岸会（藤木正幸会長）が、町の活性化や同公園整備チャリティー事業を目的に行われ、今回で2回目。バザーでは、初公開された〝みふねバーガー〟が大好評で瞬く間に完売。オークションには、町の特産品など約30点が出品されて、威勢のいい掛け声とともに次々と落札されていました。

なお、今回の益金は、みふね両岸会が、同公園の整備資金に役立てられます。



宝探しゲームで勢いよくお目当ての宝を探す子どもたち

地域で地産地消に挑戦

滝尾小学童保育スイカの定植体験

4月7日、滝尾小学校（沼田義雄校長、115人）の学童保育「たんぽぽクラブ」（大村和子会長）の児童16人がスイカの苗植えを体験しました。

これは、福永明夫さん（滝尾）の協力で、農業への親しみや地産地消を目的とした初めての取り組みです。畑約3㌃に、スイカの苗18本を植え付け、雑草対策と保温用のビニールを取りつける作業を行いました。

福永さんは、「（農業にふれて）労働の楽しさや食育の大切さを肌で感じてほしい」と話され、6月下旬に子どもたちと一緒に収穫を行う予定です。



植えたスイカの苗に水を掛ける児童

6分団が3年ぶり総合優勝飾る

消防団通常点検

4月6日、御船町消防団（米田則昭団長、439人）の通常点検が御船中学校体育館とグラウンドで開催され、団員357人が参加しました。開会式では、米田団長が「安心安全なまちづくりには、消防団の役割は重要であり、自覚をもち責任ある行動をして頂きたい」と訓辞。永年勤続功労章や精績章などの表彰、幼年消防クラブ（上野、高木、若葉保育園）の通常点検が行われた後、各分団の通常点検、各班の放水競技が披露され、日ごろの訓練の成果を発揮していました。なお、各部門の主な成績と表彰は次のとおりです。（敬称略）

▶総合の部
優勝／第6分団、2位／第4分団、3位／第5分団
▶通常点検の部
優勝／第3分団、2位／第6分団、3位／第4分団
▶放水競技（小型ポンプの部）
優勝／第6分団第3班、2位／第9分団第1班
3位／第6分団第2班
▶機械器具点検の部
優勝／第6分団第2班　2位／第8分団第4班
3位／第1分団第4班
優秀賞／第4分団第1班、第4分団第3班
▶機械器具点検総合の部
優勝／第4分団、2位／第2分団、3位／第8分団
▶年間出場率の部
優勝／第2分団、2位／第5分団、3位／第8分団

通常点検で前後列の規律をチェックする点検者



▶消防庁長官表彰
（永年勤続功労章）
佐方憲一（滝　尾）
松本誠治（豊　秋）
▶日本消防協会長表彰
（精績章）
内村光宏副団長（木　倉）
▶熊本県知事表彰
（永年勤続功労章）
太原　保（辺田見）
楠田保行（七　滝）
椿　敏美（田　代）
栗本和俊（上　野）



将来有望な幼年消防クラブの園児たち

平成21年度御船町消防団幹部の顔ぶれ



団　長
米田　則昭



副団長
石坂　浩秋



副団長
内村　光宏



第1分団長
榊　　建一



第2分団長
佐方　勝吉



第3分団長
内村　良二



第4分団長
園田　　徹



第5分団長
吉田　髙之



第6分団長
川上　幸太郎



第7分団長
田中　泰浩



第8分団長
藤本　隆盛



第9分団長
池田　　亮